

脳卒中後片麻痺における上肢機能評価項目の難易度を検討 するため、当院に入院・通院された患者さんの診療情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 リハビリテーション医学
職名 専任講師
氏名 川上途行
実務責任者 所属 リハビリテーション医学
職名 専任講師
氏名 川上途行
連絡先電話番号 03-5363-3833

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2015年4月1日より2019年6月30日までの間に、慶應義塾大学病院リハビリテーション科にて脳卒中後片麻痺に対する治療のため入院し、リハビリテーションを受けた方

2 研究課題名

承認番号 20190144

研究課題名 慢性期重度脳卒中患者における Fugl-Meyer Assessment of the upper extremity (FMA-UE) 構造の分析

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室・慶應義塾大学病院リハビリテーション科

4 本研究の意義、目的、方法

本研究は、患者さんの上肢機能評価の結果を後方視的に分析し、評価項目の難易度を検討することで、脳卒中後片麻痺の患者さんが日常生活の中で麻痺のある手を使うときに、適切な難しさの練習課題を提案することを目的としています。

5 協力をお願いする内容

診療録に基づき、基礎的情報(診断、年齢、性別、利き手、ADL、これまでの治療内容、社会歴、既往歴、画像データ等)や経過、運動機能、感覚機能、筋緊張や痙縮の状態、電気生理学的検査などのデータを使用させていただき、解析を行います。

研究結果は、個人の情報が特定できない形で、学会発表や学術雑誌、およびデータベース上などに公表されることがあります。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日(通知書発行日)~2020年3月31日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名および患者番号のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した診療情報を結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人(ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)より、診療情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

川上 途行(かわかみ みちゆき)

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室、慶應義塾大学病院リハビリテーション科

TEL : 03-5363-3833(9:00~17:00) FAX : 03-3225-6014

E-メールアドレス : keiorehab@gmail.com

以上